

フリーランスの@がSUN SUN

川崎美紀の
SMILE通信

きょうも
おもてなし
日和



Vol.21

「新人類」の若者たちを知る

MoneyConnection® (以下、マネコネ) のファシリテーターとして、高校生へ「お金と仕事」の話をする機会があります。

出前授業は50～100分で、社会科や家庭科、総合学習の枠で行います。社会に出る前に、若いうちに、お金のこととお金を稼ぐことについて考えてもらいたい、それは無業になることを防ぐ一助になる、と思っています。

マネコネは、ニート、若年無業者予防を目指した金銭基礎教育プログラム。東京都や埼玉県は数年前から予算をつけて、積極的に提供ははじめています。

先日伺ったある高校では、1年生40名のクラスに2名、ほとんど動かない生徒がいました。その2人

ニートという言葉を知って久しいのですが、最近では「若年無業者(じゃくねんむぎようしゃ)」と呼ぶようになってきています。

ニートというレッテル張りがよくないという考えから、呼び方を変えるようになってきています。

気になった 「ほとんど動かない」高校生

今回は若者について書きます。

年明けから国の統計への信頼が揺らいでいますので、数字を出すことは極力控えます。

「ニート」(NEET) は「Not in Education, Employment or Train-

ing」の頭文字を取ったもので、就学・就労・職業訓練のいずれも行っていないことを意味する用語です。日本では、15～34歳までの非労働力人口のうち、通学(学生)と家事を行っていない人を指しています。

また、いわゆる「若者」とは、若い人のことです。年齢の明確な規定はなく、15～34歳、あるいは39歳くらいまでをいうことが多いようです。

私と若者の接点の多くは、学校への出前授業を通してです。以前にも紹介しましたが、私はNPO法人育て上げネットと新生銀行が行っている金銭基礎教育プログラム

「ほとんど動かない」って、結構

大変、いつ見ても同じ体勢でいるのは辛いかなと思いました。あまりの衝撃に、どんなときに動くのか、どんなことが好きなのか尋ねるのを忘れて帰ってきてしまいました。担任の先生によると、最近は、ときどきいるタイプのようなのです。

その先生、教室内のごみ箱があふれているのを見つけて、自らビニール袋を替えていました。このことを伺うと、「待ちたいんだ」とおっしゃいました。生徒の行動を受け入れたい、その気になるときを待ちたいと優しい笑顔でおっしゃって、照れていました。

働くモチベーションは 「時間内での業務終了」

また、時を同じくして、定期的に

参加しているキャリアコンサルタントの勉強会でも、「若者」がテーマとして取り上げられました。興味深かった調査をご紹介します。

ある生命保険会社が一昨年、若者500人、ベテラン500人の計1,000人を対象に行った調査です。

* 次の10の項目の中で、モチベーションアップにつながる順番に番号をつけてください

- ① 就業時間内に業務を完遂すること
- ② 一緒に働くメンバーに感謝されること
- ③ 事前の計画通り業務を完遂すること
- ④ 難易度の高い業務を完遂すること
- ⑤ お客さまに感謝されること/笑顔がみられること
- ⑥ 新しい知識・技能を身につけられること
- ⑦ 専門的な知識・技能を身につけられること
- ⑧ 一人で業務を完遂すること
- ⑨ 成果に見合った給料が貰えること
- ⑩ 協力して業務を完遂すること

この問いに対する回答は、ベテラン(40～59歳)と若者(20～29歳)で全く異なるというのです。

実際に皆さんも順番を考えてみてください。いかがでしょうか?

「お客様のために働く喜び」や「新しい知識や技術を習得する楽しみ」など、私が働くモチベーションだと思っていることが、いまの若者とは優先



川崎 美紀 (かわさき・みき) オフィスリバー研修講師 <http://www.officeriver.biz>

国際線キャビンアテンダントとして10年乗務、2005年JALアカデミーのインストラクターとなる。同時に個人事務所・オフィスリバーを立ち上げ、2012年独立。2015年日本キャリア開発協会認定キャリアディベロップメントアドバイザー(CDA)の資格を取得。主に企業を対象に、ニーズに応じた研修を提案し提供。近年はビルメンテナンス・警備・ホテル・金融機関など各業界での研修実績を持つ。ビルクリーニングカレッジでは「おもてなしマナー」トレーナー講習を担当。



イラスト★ささきさとみ (<http://blog.goo.ne.jp/satomi343>)

順位が異なっているという驚きは、またもやかなりの衝撃でした。へえーという声も上がらないほどです。

ベテランは④⑨⑤が上位に来ますが、若者は①③②です。若者の1位は「①就業時間内に業務を完遂させること」。「時間内に終わらせること」や「予定通り」は、私たちが考えているよりはるかに若い人にとっては重要なことなのです。肝に銘じなければなりません。

同じように、休憩中は休憩をする、ランチタイムもそう、です。ランチタイムに、食堂でたまたま一緒にあった部下に仕事の話をしたら、「いまは休憩中ですよ？」と言われたという体験談を話してくれた人もいました。

「旧人類」は わかってくれない?

今年は平成最後の年です。

私は平成元年に社会人になり、当時は「新人類」と呼ばれました。

新人は、若者は、いつの時代でも「新人類」なのかもしれませんね。だから、パワーがあって掴(つか)みきれない。あるいは、持っているエネルギーの発露がいままでと異なるので旧人類にはわからないことが多いのかもしれない。

旧人類になったいまは、新・新人類にいろいろと模索している姿を見せることもまた、多少格好悪いけれど、コミュニケーションの一つの形ではないかと思います。

若者からは「職場のベテランは自分たちの話を聞こうとしない。他人の気持ちを察する力がたりない」という声も聞きます。

察するためには、知りたいと思い、知ろうとすることが第一歩です。わからない、わからないを言うだけでは、ずっとわからないままです。